

# NTT 技術資料館他

(東伏見稲荷、NTT 技術資料館、武蔵関公園)

## 記

- 日 時：令和2年2月21日(金) 9時35分集合
- 集合場所：所沢駅 特急券売り場近く、西武新宿行きホーム
- 見学場所及び時間：コース全長 約5km  
所沢駅(9:41)……西武柳沢駅(10:03)⇒東伏見稲荷⇒下野谷遺跡公園  
⇒デニーズ⇒NTT 技術資料館⇒武蔵関公園⇒東伏見駅……所沢駅  
(16:00頃帰着予定)
- 交通費(所沢から)：約500円
- 昼食 デニーズ吉祥寺北町店 0422-55-7800
- 散策先簡単ガイド

### <東伏見公園>

東伏見稲荷の北側にある新しい公園です。下見の時は小高い丘に登ると富士山が良く見えました。また、49mもあるローラー滑り台がありチャレンジしたのですが、お尻に敷くものを持ってないとちょっと痛い。



### <東伏見稲荷>

東伏見稲荷は昭和4年に京都の伏見稲荷大社の分霊を勧請して東の伏見稲荷神社として創建されました。なお、東伏見という地名はこの神社が出来てからついた新しい地名です。



稲荷なので祭神は宇迦御魂大神(うがのみたまのおおかみ)ですが、佐田彦大神(さだひこのおおかみ)、大宮能売大神(おおみやのめのおおかみ)が祀られており、この御三座を東伏見稲荷大神と総称します。



決して広いとは言えない境内ですが、拝殿の裏手に、100基以上の赤い鳥居があり、一回りすると20近い社があります。お賽銭をあげるなら5円玉が20個くらい必要かも。

また、奥に中島飛行機武蔵野製作所でなくなった人々の慰霊碑があります。これは戦前、中島飛行機の社員研修所があり、鍛錬教育が行われていたからです。なお、約5万人が働いていた中島飛行機武蔵製作所は敷地56万㎡で、この後に行くNTT開発センター、武蔵野中央公園の辺りにありました。

### <石神井川を散歩>

東伏見稲荷から石神井川に沿って歩きます。下見の時はカワセミ、キセキレイ、メジロ、オナガ、カルガモ等が見られました。その前に来たときはコサギ、セグロセキレイ、シジュウカラも見ました。何か動くものはいないか探しながら散歩しましょう。

### <下野谷(したのや)遺跡公園> ちょっと休憩

縄文時代中期(今から約5,000~4,000年前)の環状集落であり、南関東では傑出した規模と内容を誇っています。平成27年に一部が国史跡に指定されました。



集落には、土坑(お墓と考えられる穴)群のある広場を囲むように、住居跡や掘立柱建物(倉庫などと考えられる建物)群などが並ぶ形で構成されており、縄文時代中期の典型的な「環状集落」という構造をしています。さらに、こういった環状集落が谷を挟んで複数存在しており、「双環状集落」と呼ばれる拠点的な集落の特徴があります。

このような形態や、出土している土器からわかる集落の継続期間が1,000年間と非常に長く、また、住居跡や土坑が密集して見つまっていることから、石神井川流域の拠点となる集落だったと考えられています。

現在、一部は下野谷遺跡公園(西東京市東伏見六丁目4番)として整備され、地下には遺跡が保護されています。

## <昼食>

11:50～12:55

デニーズにて <https://www.dennys.jp/>

<NTT技術資料館>……一般公開日は、毎週（木）、（金）の13:00から

NTT 武蔵野研究開発センター内に技術資料館があり、日本電信電話公社発足以降の半世紀を中心に、NTTグループの電気通信技術開発の歴史的資産を系譜化・集大成しています。

自由見学の標準コースは3時間ですが、興味・関心は人それぞれのため所要時間約1時間のガイドをお願いしています。

ガイドコースはNTT技術史料館の全体をご覧いただく基本コースです。NTT技術史料館のガイダンス映像をご覧いただいた後、「歴史をたどる」ツアー、「技術をさぐる」ツアーを合わせた内容でご案内します。初めてご見学される方におすすめのコースです。



## <武蔵関公園>

遊歩道に囲まれたひょうたん型の大きな池のある公園です。武蔵野の面影を象徴する樹木が茂る園内は散歩、ジョギング等を楽しむ人たちがいっぱいです。池ではボートに乗ることができ、また色々な野鳥を見ることができたり、自然を感じることもできる公園です。

2月は池でカモ等の冬鳥が多くみられると思います。運が良ければカワセミも見られます。そのほか、キンクロハジロ、オオバン、カイツブリ等が見られました。



帰路：東伏見駅より、  
所沢帰着 15:50 頃予定

2020. 01. 24 山本撮影